

トーリック眼内レンズ 正誤表

いつも小社出版物をご利用いただき誠にありがとうございます。

『トーリック眼内レンズ』について以下の誤りがございました。深くお詫びするとともに、ここに訂正致します。

- p. 13 右段 4行目
 - 【誤】 角膜屈折力 (D) = 337.5 × 角膜屈折力 (mm)
 - 【正】 角膜屈折力 (D) = 337.5 ÷ 角膜屈折力 (mm)

- p. 42 左段 7行目
 - 【誤】 C1D Ax A₁に対しては同様に・・・
 - 【正】 C2D Ax A₂に対しては同様に・・・

- p. 84 図7-9
 - 【誤】 (イラスト左の) 3時
 - 【正】 9時
 - 【誤】 (イラスト右の) 9時
 - 【正】 3時

- p. 87 中段5行目
 - 【誤】 測定する (赤線) . 左図では
 - 【正】 測定する (青線) . 左図では

- p. 87 中段7行目
 - 【誤】 主経線も確認でき (青線) , この例では
 - 【正】 主経線も確認でき (赤線) , この例では

- p. 136 2行目
 - 【誤】 2D以上の角膜倒乱視
 - 【正】 2D以上の角膜直乱視

- p. 136 3行目
 - 【誤】 術後裸眼視力は右1.2, 左は
 - 【正】 術後裸眼視力は右1.5, 左は

●p. 136 術後結果の波面収差解析（乱視），3つの図の説明一番上

【誤】 角膜乱視は術前と同様倒乱視である

【正】 角膜乱視は術前と同様直乱視である

2011年6月現在